

待降節第三主日

2021.12.12

ルカ 3・10-18

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高神父

今日のごミサの中で、「喜びなさい」、「喜べ」、そのような言葉がたくさん響いています。今日のミサは、この降誕祭にわたしたちがお迎えする主のもたらしてくださる喜びがわたしたちの心の中にも広がっていくように、わたしたちに勧めています。今のわたしたちの生活、どこを見ても本当に心から喜ぶことができないような状況が続いていますけれども、このミサに集うわたしたち、この集いの中では、神様がお生まれになられる主イエス・キリストを通してわたしたちにもたらして下さった信仰の喜びを共に分かち合うことができたなら、と思います。

「喜べ」、「喜びなさい、主は近くにおられる」、「主はあなたがたの中におられる」。このミサの集いの中で、わたしたちと共にいてくださり、わたしたちの中にいてくださる主に心に向けて、わたしたちがいただいている信仰の恵みがわたしたちにもたらしているこの喜びを分かち合うことができますように。

待降節の主要な聖書の中の人物は、言うまでもなく洗礼者ヨハネです。洗礼者ヨハネが人々に伝えた最大のメッセージは、「わたしの後から来られる方はわたしよりも優れている」。そのようなヨハネのメッセージを今日わたしたちは聞きました。わたしたちも、及ばずながらではありますが洗礼者ヨハネのように、来てくださる主を、わたしたちの背後におられる主を、わたしたちをとおして人々に証しすることができますように。

個人個人のわたしたちもそうですけれども、この高円寺教会の信仰の共同体が、わたしたちの周りにいる人々に、わたしたちの後に来られる主を、その主の喜びをもたらすことができるような共同体に成長してゆくことができますように。今日のミサをとおして、わたしたちがどこにいても共にいてくださる主にわたしたちの心に向けて、主がもたらしてくださる喜びがわたしたちの中に広がり、その喜びがわたしたちをとおして、わたしたちと共に生きている周りの今の社会の人々の心に広がっていく、そのような使命を改めて受け留めさせていただいて、喜びをもたらす、その使命を生きていく恵みを願って、今日のごミサを共に捧げたいと思います。

わたしたちを見ている周りの人たちが喜びの温かさを感じられる共同体に成長していくことができますように、今日のミサをとおして共に祈り合いたいと思います。